



高度技術分野に特化

表面処理
・熱処理
受託加工を本格化

コート
イ
ャ
ボ
デ
ジ

【名古屋】ボディコー
ト・ジャパン(名古屋市
西区、ジュリアン・ペイ
シヨア社長、052・9
12・5518)は19

日、熱間静水圧プレス
(HIP)処理など表面
処理2種と、熱処理2種
に特化し受託加工事業を
本格化すると発表した。

同社は英熱処理大手の日
本法人で08年3月に設立
した。高度技術が必要な
分野に集中し、09年12月
期に前年度比6倍の6億

円の売上高を旨指す。

力を入れるのは①高温
・高圧ガスで金属粉末を
焼結するHIP②セラミ
ックで表面をコーティ
ングするK-テック③ス

テンレス専用の熱処理加

工「コールスタライジン
グ」④ボロンを拡散させ
鉄とニッケルの原子を結
合させ硬い層を生成する
ボロナインジングの4種

の処理。

日本法人設立後は一部
で受託加工をしながら日
本の市場調査を中心に活
動、最適な事業展開方法
を検討していた。